

鈴鹿市シティセールス戦略（案）に関する意見公募手続結果【パブリックコメントにおける意見と対応について】

※意見募集期間 平成30年2月15日(木)～平成30年3月19日(月)

※意見提出者 2名

※意見件数 16件

No.	頁番号	意見等	意見に対する考え方
1	2	<p>■「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」はいいですが、具体制を感じられません。数年、いや、もっと前から、地方の時代、地方の時代と叫ばれていますが、鈴鹿市としての県・国への働きかけは、具体的にどんなことがあるのでしょうか。</p>	<p>◆シティセールス戦略（案）では、シティセールスを取り巻く情勢の一つとして、人口減少社会に伴う資源獲得競争の激化を記載しています。 ◆国と地方が両輪となって課題に取り組む内容として、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても一部明記しています。なお、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、市ホームページ内【行政ガイド-計画・財政・施策-計画-各種計画】に掲載しています。 ◆国・県への働きかけについては、国会議員、鈴鹿市選出県議会議員、三重県知事に対し、本市の課題解決に向けた要望・提言活動を毎年実施しています。</p>
2	4	<p>■道路ネットワークの変化について、道路網の整備は車社会において、便利性、経済効果を生むと思われませんが、私どものことで恐縮ですが、私ども津賀町ですが、四車線道路ができましたから、津賀の在所へ抜ける間道が沢山できた為、いろいろな物が盗まれます。津賀は元々、袋小路の「むら」で、何か便利になるのもよろしいが、ぶっそうになります。しかし、世の中、便利になればなる程、それを裏返しに人を騙す「オレオレサギ」もそうですが、パソコン等の普及もそうですが、便利性とその対策も大切です。それを行政側でどうしていくかでしょうね。地域の協力も不可欠ですが、時代と共によこの連けいも、近所の付き合いも減少しつつある状況に思えます。</p>	<p>◆御意見として承ります。</p>
3	4	<p>■「F1日本グランプリ」「鈴鹿8時間耐久ロードレース」等につきましても一時期よりは、はるかに下火になる傾向にありつつあります。確かに、諸外国では、三重県といっても解ず、スズカという名は通っています。特に、フランス、パリ等においては、スズカは有名ですが、かといって、今現在の状況では、どうか？と思います。</p>	<p>◆P22の「交流人口拡大プロジェクト～行こうよ！鈴鹿へ。プロジェクト～」を始めとする取組を進め、様々な経営資源獲得に努めていきます。</p>
4	5～7	<p>■人的ネットワークとは、あくまで口こみでなければならぬと思います。いかにはでな宣伝、アピールも人通しの口こみがアナログ姿勢ですが、一番大切に大事なことであると思います。その為には、全般的に云えることですが、人心力、真心、友愛の力、人を大切に作る心であると信じています。それが、「食」「風土」「歴史」「伝統」「文化」に連がるものでしょう。</p>	<p>◆P20以降に記載の「推進プロジェクト」を始めとする取組を進め、様々な経営資源の獲得に努めていきます。</p>
5	14	<p>■シティセールスについて。「アグリカルチャー」津賀池はわき水です。その間泉の下流には、沢ガニがいて、クレソンが自生しています。私の家業は、以前農業でした。しかし、現在の米づくりでは、必ずしも黒字とはいえませんが、あちこちに荒された田、畑を年々目にします。JA鈴鹿では白ネギを推進していますが、手間がかかり、単価が低すぎます。鈴鹿には、約60ヶ国の在日外国人がいると聞いています。土地の有効利用としては、農振農用地の解除が不可欠であると思います。または、新しい農作物、三重県・鈴鹿市特有の物を作り出す必要があると思います。これからの世代の人々、若い人々に魅力あるアグリが必要であると思います。これ以外に、農振農用地をはずす土地に関して、在日外国の方々が生産したい、など確な用途がある場合は臨機応変に変えていくのが必定だだと思います。これによって、経済効果が上がりますし、強いては市全体の潤いとなりうると思います。とにかく、土地に関する規制が多すぎます。人口増加を目ざすのであるならば、亀山市を参考にすべきです。</p>	<p>◆御意見として承ります。</p>

No.	頁番号	意見等	意見に対する考え方
6	22	<p>■交流人口拡大プロジェクト まず、市の観光資源として、市内観光として、 ①椿大社 猿田彦明神 ②龍が池 お龍さんの人柱（事実） 当時の伊船の豪農 真乙長左衛門の娘 ③津池堤防 桜の木を植え、ベンチを置き、遊覧船を浮かべる、たこ焼き、焼きそば等 を売り、デートコースにする ④荒神山観音寺 毎年4月7日祭り等、春日の局や清水次郎長一派と吉良仁吉との抗 争、九面観音様、前の調整池も津賀池と同様、遊覧船を浮かべ、周辺に、たこ焼き、や きそば等を売る。 ⑤加佐登神社 毎年4月8日祭り、5月にはつつじ祭り、白鳥塚、大和武之尊（やまと たけるのみこと） ⑥みどりの大地 みちの駅 新鮮な野菜等、鈴鹿特産物 ⑦さつき温泉 すずかにおいて一番良い湯、深さ1,200mから掘湯 ⑧鈴鹿サーキット 以上のような他府県から来られる方に、観光マップ的なコースを組 めないものかと前々から考えていました。</p>	<p>◆P22の「交流人口拡大プロジェクト～行こうよ！鈴鹿へ。プロジェクト～」の内（2）観光 誘客プロジェクトには観光誘客ルートの形成を記載しており、御意見として承ります。</p>
7	23	<p>■婚活情報の提供、子育て支援センターの各種事業、具体的な事柄が見えてきません。</p>	<p>◆シティセールス戦略（案）では、推進プロジェクトとして各種個別計画における取組の方向 性や具体的な施策と照らし合わせ記載しています。なお、より詳細な取組については、市ホー ムページ内【行政ガイド-計画・財政・施策-計画-鈴鹿市総合計画2023】の実行計画書でご確 認いただけます。</p>
8	24	<p>■子育て支援サイトの拡充、婚活、出産、子育てに対する情報発信、これも具体的なも のが見えてきません。</p>	<p>◆同上</p>
9	25	<p>■プライベートで失礼ですが、私は以前、市内の小・中学校の教員でした。 お子様の充実した育成について ここ数年、大卒でも就職にあふれる世の中、知識は無いよりは、ある方にこしたことは ありませんが、今からの時世代を担う人達は、人間力が優れていないとダメであると思 います。 現在の学校教育の大変さもよく理解しているつもりです。しかし、今、教員にかけら れる負担があまりに大きすぎます。教職員へ、人員をもっと増やすべきで、教員にもっ とゆとりを与えるべきです。先生方が、もっと心にゆとりを持っていないと、決してい い教育はできません。 生徒さん、児童さんは、国の財産です。何よりも一番力を入れなければならない事だ です。 この複雑多義な世の中をまかせる人たちです。人材育成、人材育成というならば、鈴鹿 の発展を願うならば、何よりも力を入れて頂きたいことです。 かけがえのない未来を背負う方々です。何卒宜しく御願い申し上げる次第です。</p>	<p>◆御意見として承ります。</p>

No.	頁番号	意見等	意見に対する考え方
10	全体	<p>■図書館ですが、やはりこれも高齢化にともない、それと車の無い方等、以前にも申し上げましたが、鈴鹿河以北について、公共交通機関、ほぼ不便なのが現状です。それで、市の方々の文化意識を向上や小さなお子様を持つ御家庭において鈴鹿河以北に図書館分館があればと以前より感じております。</p> <p>しかし、これは市の財政の問題もあり、大変なことであることは、よくわかっております。新名阪のインターチェンジ等インフラ整備がすすめられていることは、よくわかりますが、それにとまなう市の方々の文化意識を高めまことは、ビルを建てたが中味が無いというようなものであると思います。</p> <p>この為にはシティセールス（案）にもありました、企業の誘致をどんどんおしすすめるべきであると思います。</p>	◆御意見として承ります。
11	全体	<p>■遊園地、植物園、動物園などの観光施設の新設立</p> <p>鈴鹿市は、亀山、関とちがうところは、歴史的に有名な建造物などがほとんど少ないという点から、鈴鹿サーキット以外これといった観光名所がほぼ無いと聞いていいと思います。それで、鈴鹿サーキット以外に将来リニアがとまって観光客が多勢おるぐらいの名所、施設を造るべきです。</p> <p>大人もお子様も楽しめるような遊園地、既存のものよりも長島やサーキットにもない新しい遊園地・・・今の段階では私にはアイデアがございませんが、これから私も考えますし、市の関係の方々、市民の皆様の方々にアイデアを公募してもよろしいかと思えます。</p> <p>名古屋の動植物園にも劣らぬ様な施設、鈴山脈に自生する植物や水生植物、世界各国の植物、鈴花には、花づくり、まりが野の植木産業などあります。</p> <p>その中で変わったものをそろえ、施設となれば鈴鹿特有の植物園をつくれと思います。動物園についても鈴鹿山系に生息する日本猿、いのしい、鹿、野鳥など、鈴鹿特有な園を設け観光に力を入れれば、これも土地の有効利用、土産物など経済効果があがると思えます。</p>	◆御意見として承ります。
12	全体	<p>■近畿日本鉄道の延長・拡大について</p> <p>現在、近鉄は平田駅止まりです。これは長年に渡っております。非常に大がかりな計画ですが、近鉄が亀山まで延び、四日市市まで連がって環状線のようなになれば、人の流れ、観光、経済効果を生むと考えられます。特に鈴鹿の鈴鹿河より以北、石薬師、下大久保、上田、上野、高塚、広瀬、津賀、伊船、長沢、小岐須、下の庄、庄野など、今はコミュニティバスしかなく、大変不便です。全国の高齢化にともない、鈴鹿においても、将来、高齢化は避けられない現状です。</p> <p>この為にも、交通機関が必要であることは、目に見えています。</p>	◆御意見として承ります。
13	全体	<p>■「ヒト、モノ、カネ、情報、技術」獲得方策として、人の心の中の変改からが大切だと思えます。</p>	◆御意見として承ります。

No.	頁番号	意見等	意見に対する考え方
14	全体	<p>■新聞で給食問題が報道されていたころ、20代、30代の他市の女性から「あんな教育行政のところでは、住みたくない」と言われた。シティセールス戦略の推進のためには、様々な関係者との協働が必要であるが、市民と市職員との信頼関係が最も重要であると考えている。</p> <p>その観点において、この意見募集の案内をなぜ2月5日号にのせるのか、全く理解できない。</p> <p>以前に市議会の全員協議会で多数の指摘があり、意見募集の方法を変更していただいたことがあった。</p> <p>2月5日号の意見募集のお知らせを市民が見ても、10日後しかその内容は見れない。直接、総務課に行っても閲覧できなかった。全員協議会後の2月20日号でもよかったのではないか。</p> <p>このような状況を繰り返しては、市民から信頼されることはないと思う。</p>	<p>◆市議会全員協議会（2/14開催）において、鈴鹿市シティセールス戦略（案）とともに、策定スケジュールとして、パブリックコメントの実施（2/15～3/19）、年度内の公表等について説明をさせていただいております。</p> <p>◆2月20号広報掲載の場合、既に2月15日から意見公募手続が実施されていることから、市民の皆様へのパブリックコメントの事前実施案内として、2月5日号に掲載をしています。</p>
15	20, 24	<p>■県では、（新）東京オリ・パラを契機とした県産食材販売拡大チャレンジ事業（農林水産部）、（新）日本酒の魅力発信・販路拡大支援事業（雇用経済部）、（一部新）ええとこやんか三重移住促進事業（地域連携部）等の事業があるが、県との連携はどのように考えているのか。具体的に説明して下さい。</p>	<p>◆（新）東京オリ・パラを契機とした県産食材販売拡大チャレンジ事業については、県から情報提供を受けての市内産食材の「みえフードイノベーション食材カタログ」への掲載、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会による名古屋のホテルでの「三重の食材フェア」開催等、連携を図っています。</p> <p>（新）日本酒の魅力発信・販路拡大支援事業については、県から情報提供を受け、市内酒蔵とともに事業参加検討をする等、連携を図っています。</p> <p>地域資源の発信において、県との連携は不可欠であると考えておりますことから、今後も継続して密に連携を図ってまいります。</p> <p>◆「ええとこやんか三重移住促進事業（地域連携部）」に関しての三重県との連携について、東京都千代田区有楽町にある「ええとこやんか三重移住相談センター」において、首都圏在住で地方へ移住を希望される方を対象に開催されるイベントに参画し、本市の魅力や暮らしやすいまちをPRすることで、本市への移住を促進しています。また、都内窓口やポータルサイトにおいて、空き家バンクや移住相談窓口の紹介など本市に関する情報を発信しています。</p>
16	22	<p>■平成30年1月2日にイタリア船籍の「コスタネオロマンチカ」が四日市港に寄港し、感動した。今後も英国船「ダイヤモンドプリンセス」が寄港予定である。四日市港へ寄港する外国客船の外国人客をどんどん鈴鹿市の観光スポットに呼び込んでいただきたい。</p>	<p>◆外国の大型クルーズ客船の寄港を好機と捉え、情報発信のほかにも、オプションツアーを企画・実施する旅行会社に、鈴鹿サーキットや本市の伝統産業である伊勢型紙、鈴鹿墨などの地域資源を組み込んでいただけるよう、関係者と連携し、積極的に提案し、誘客につなげてまいります。</p>